

【技術の名称】 すみ兵衛工法 ーセメントミルク柱状補強体による杭状地盤補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第20-28号（更1） 性能証明発効日：2024年4月17日 性能証明の有効期限：2027年4月末日
	【取得者】 地研テクノ株式会社 一般社団法人先端地盤技術グループ

【技術の概要】

本技術は、地盤に掘削ロッド（角型スクリュウ装置）を回転圧入して所定深度に到達させた後、セメントミルクを注入しながら掘削ロッドを引上げるにより、置換柱体（以下、“地盤補強体”と称す）を築造する地盤補強工法である。本工法の特徴は、掘削土を周面地盤に押しつけながら掘削できるように角型軸部を設けた掘削装置を使用することで、施工トルクの低減、掘削孔の安定、および排土量の抑制を図り、安定した品質の地盤補強体を築造できることである。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して地盤補強体の支持力のみを考慮することとしている。

【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第20-28号（2021年4月9日）
更新：GBRC 性能証明 第20-28号（更1）（2024年4月17日）

【技術開発の趣旨】

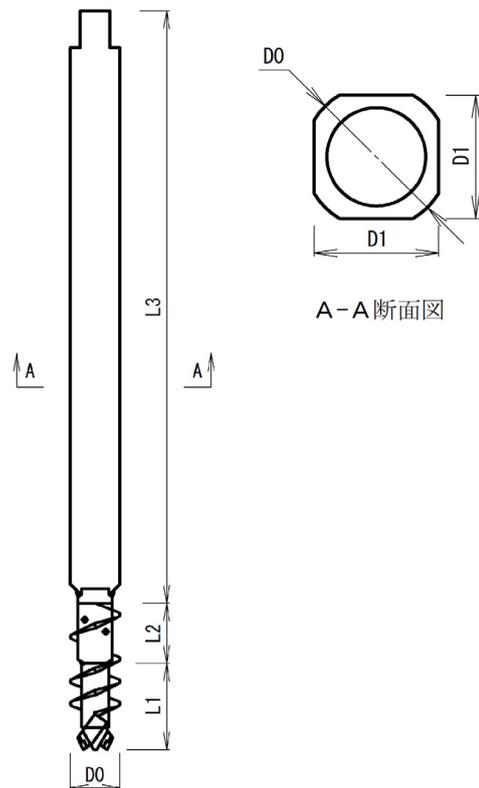
本技術は、プラントにおいて配合管理を行ったセメントミルクを地盤と攪拌せずに置換充填することで、一般の柱状地盤改良体と比べて高強度で、かつバラツキの少ない安定した品質の地盤補強体を築造することが可能である。また、特殊な掘削装置を使用することで、施工時のトルク低減と発生土抑制を図ることができる。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の地盤補強体の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「すみ兵衛工法 設計・施工基準」に従って施工された地盤補強体の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同基準に定めるスクリュウウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



概略図

図-1 掘削ロッド（角型スクリュウ装置）

【本技術の問合せ先】

一般社団法人先端地盤技術グループ

担当者：北岡 茂樹

E-mail：s-kitaoka@sentanjiban.or.jp

〒252-0312 神奈川県相模原市南区相南 4-23-15 2F

TEL：042-701-0902 FAX：042-701-0912

地研テクノ株式会社

担当者：菅野 直樹

E-mail：n-sugano@chiken-t.co.jp

〒252-0312 神奈川県相模原市南区相南 4-23-15 2F

TEL：042-701-2360 FAX：042-701-2361